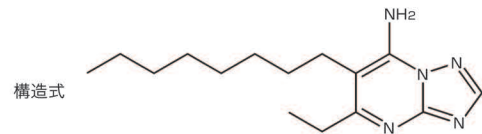


成分・性状・物理化学的性質・規格

種類：アメトクトラジン水和剤
 成分：イニシウム®(一般名:アメトクトラジン)・・・18.9%
 化学名：5-エチル-6-オクチル[1,2,4]トリアゾロ[1,5-a]ピリミジン-7-アミン
 性状：類白色水和性粘稠懸濁液
 毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
 規格：500ml×10本



人畜・環境への安全性

人畜毒性(製剤):

LD ₅₀ (ラット, 経口)	>2,000mg/kg
LC ₅₀ (ラット, 吸入)	>5.1mg/ℓ
LC ₅₀ (ラット, 経皮)	>5,000mg/kg

魚毒性(製剤):

コイ LC ₅₀ (96時間)	>1,000mg/ℓ
オオミジンコ EC ₅₀ (48時間)	>120mg/ℓ
緑藻 EC ₅₀ (72時間)	>100mg/ℓ

芝生に高い安全性

作物名	薬量 / m ²	水量 / m ²	散布日	調査月日	薬害
ベントグラス (SR1020)	0.5 ml	500 ml	7月31日	8月7日	薬害なし
	1 ml			8月22日	
	2 ml		8月22日	9月3日	
ベントグラス (ベングロス)	0.5 ml	500 ml	7月24日	8月8日	薬害なし
	1 ml		8月8日	8月22日	

(2012年、社内圃場試験)

適用雑草と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アメトクトラジンを含む農薬の総使用回数
西洋芝 (ベントグラス)	赤焼病 ピシウム病	1000倍	0.5 ℓ / m ²	発病初期	3回以内	散布	3回以内

使用上の注意事項

- 使用前にラベルや説明書をよくお読みください。
- 散布液調製の際は、水をかきまぜながら本剤の所定量を徐々に加えること。
- 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量・使用時期・使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 散布の際は保護眼鏡、農薬用マスク、手袋、長袖・長ズボンの作業着等を着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。
- 公園等で使用する場合には、散布中および散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう、縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害をおよぼさないよう注意を払うこと。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 火気をさけ、食品と区別して、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管すること。

2014.4/3K(DD)_8004-01

販売取扱店

BASFジャパン株式会社

〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー21階
 ☎0120-014-660 <http://www.agriculture.japan.basf.com>

BASF
The Chemical Company

ザンプロターフ®

芝生用/殺菌剤 アメトクトラジン水和剤

- 新規系統有効成分「イニシウム®」(一般名:アメトクトラジン)含有
- ピシウム病、赤焼病へ高い予防効果
- 優れた保護効果と耐雨性
- 芝生、環境への高い安全性



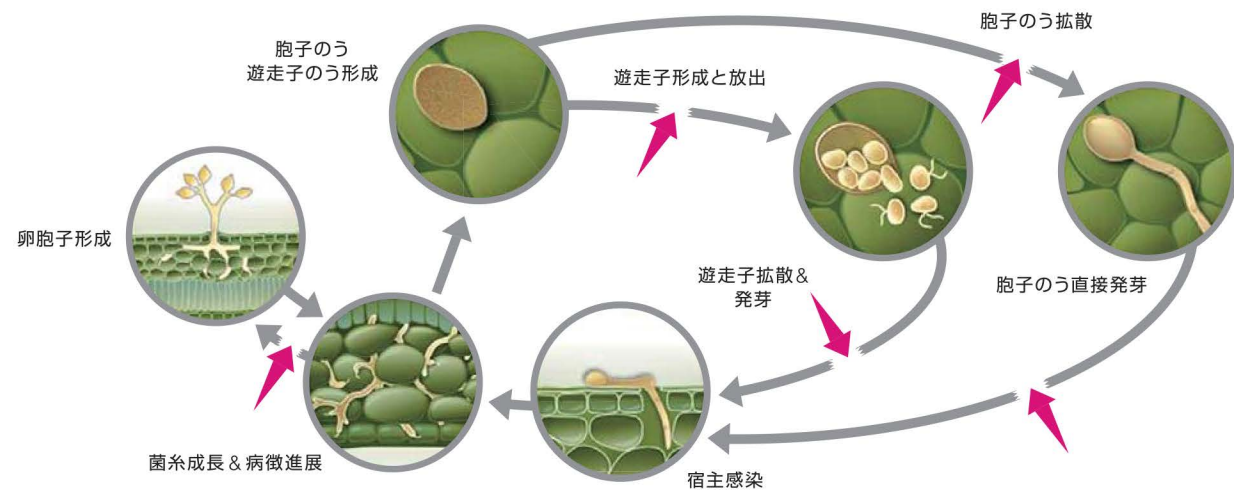
For professional greenkeepers.

新規系統有効成分「イニシウム®」 ピシウム病、赤焼病予防の新定番

選ばれる特長 | 1 | 新規系統有効成分「イニシウム®」配合

- 作用機作: 「イニシウム®」(一般名: アメトクトラジン)は、病原菌のミトコンドリア内の電子伝達系複合体IIIに作用しエネルギー合成を阻害します。また卵菌類に活性のある殺菌剤グループ(フェニルアミド剤、Qol剤、カルボン酸アミド系)とは交差抵抗を示さない新規系統の有効成分であることが分かっています
- ピシウム病、赤焼病予防のローテーション防除に最適

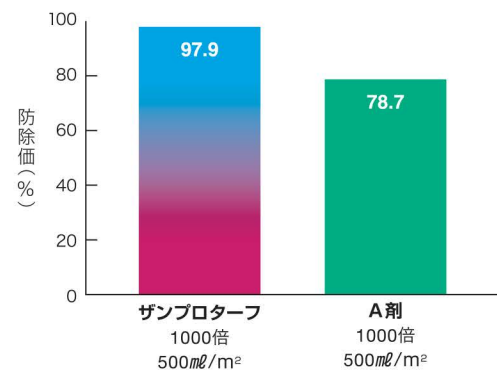
▼ ピシウム病の生活環に対する作用点



選ばれる特長 | 2 | ピシウム菌に対して優れた予防効果

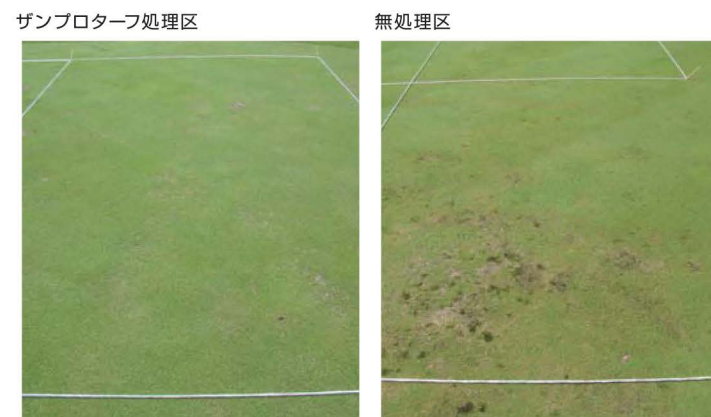
- 発生前～発病初期の散布で、ピシウム病をしっかり防除

▼ 赤焼病防除効果



植防研【2011年、委託試験】
散布日: 7月7日 / 7月14日 / 7月21日 / 8月4日 / 8月11日
赤焼病菌接種: 7月27日 調査日: 8月15日(最終散布4日後)

▼ 処理区



【2011、社内試験】 散布日: 8月24日 / 調査日: 9月18日(15日後)

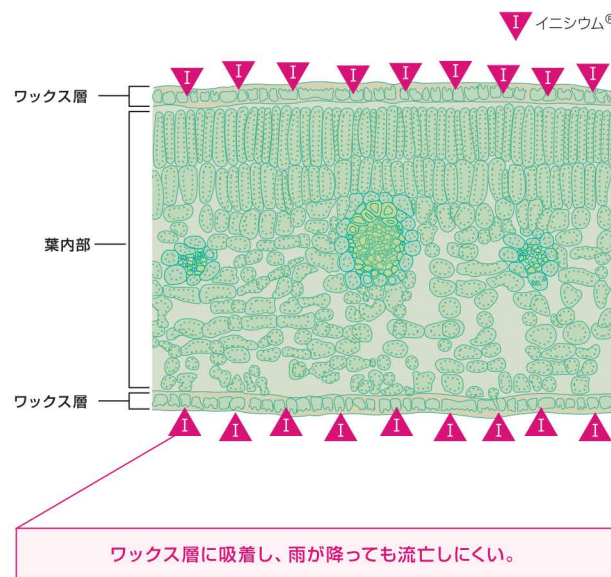
効果的にお使いいただくための5つのポイント

- 病害の発生前に予防散布することで、防除効果が最大
- 耐性菌の出現防止のために、異なる系統薬剤でのローテーション散布を
- 激しい降雨が予想される場合は使用を避けてください
- 均一散布を心がけてください
- 薬量・水量は必ず所定の範囲内で

選ばれる特長 | 3 | 優れた保護効果と耐雨性

- イニシウム®はワックス層に強く吸着され、優れた対雨性を有す
- 吸着されたイニシウム®は水分により再分配される

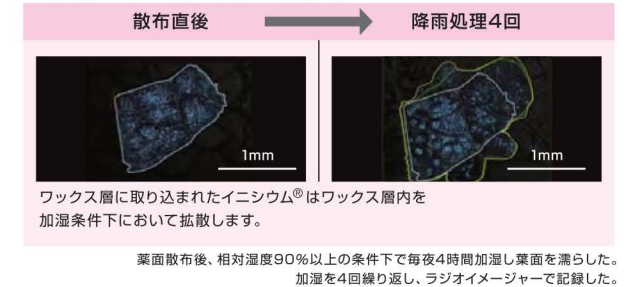
▼ ワックス層へ吸着される、葉断面のイメージ図



▼ 葉面への吸着の様子



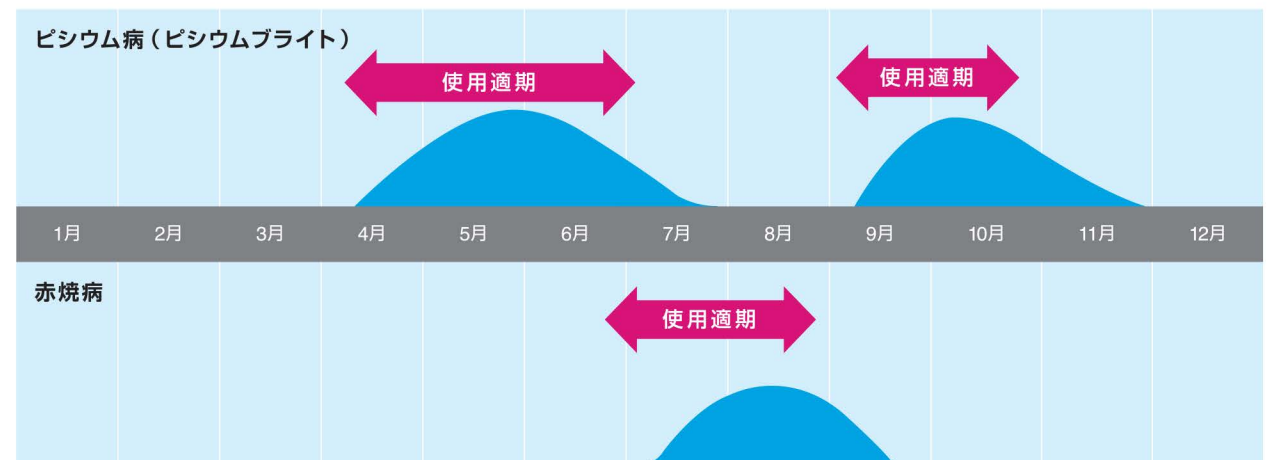
▼ 水分により溶け広がる様子



薬面散布後、相対湿度90%以上の条件下で毎夜4時間加湿し葉面を濡らした。加湿を4回繰り返し、ラジオイメージャーで記録した。

上手な使い方 | ピシウム病害の発生時期と散布適期

- ローテーション防除に組み込みピシウム病・赤焼病をしっかり防除



防除適期: 発病前予防～発病初期散布処理